

泌尿器科がん特集

医療機関別
2010年治療実績

注目!!

前立腺がん外照射治療には
放射線治療装置「ノバリス」を採用

より体に負担の少ない
治療を求めて・・・

石川 13 版 2012年(平成24年)1月8日(日曜日) 第 31 頁

病院の実力「泌尿器科がん」
医療機関別2010年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	前立腺がん全摘手術(件)	前立腺がん外照射治療(件)	膀胱がん全摘手術(件)	腎臓がん全摘手術(件)
県立中央	18	0	3	20
松任石川中央	15	0	6	7
恵寿総合	12	5	0	8
能登総合	11	5	1	7
金沢医大	5	5	4	14
小松市民	4	13	1	9
浅ノ川総合	3	20	3	5
国・金沢	3	1	2	9
市立砺波総合	27	4	6	20
富山大	17	20	7	16
県立中央	13	62	6	17
厚生連高岡	9	3	11	9
市立富山市民	8	7	7	9
長谷川	6	0	1	5
済生会富山	6	0	2	7
黒部市民	5	6	2	5
富山赤十字	4	7	0	12
高岡市民	0	6	0	15
富山労災	0	9	0	0
福井赤十字	31	25	8	32
県済生会	13	52	9	9
福井大	10	13	10	34
丹南	1	0	0	2
小浜	1	1	0	1

「国・」は独立行政法人国立病院機構。全項目が「0」の施設は省略した

病院の実力
～石川編 54

泌尿器科がん
合併症抑える療法も

今回の「病院の実力」は、泌尿器科のがんを特集した。前立腺がんは一般に進行が遅いこともあり、すぐに治療せず、経過観察する

元照射が普及している。ただし、どの治療も排尿障害や性機能障害などの合併症が出やすい。そこで近年、がんの形に合わせて照射に強弱をつけ、合併症を抑える「強度変調放射線治療」も増えてきた。早期がんには、合併症がやや少ない「小線源療法」も行われている。放射線が出る金属のカプセルを前立腺内に埋め込む治療法だ。膀胱がんは、がんが粘膜内にとどまっていれば尿道から内視鏡を入れて電気メスで削る。粘膜より下層に

併症が出やすい。そこで近年、がんの形に合わせて照射に強弱をつけ、合併症を抑える「強度変調放射線治療」も増えてきた。早期がんには、合併症がやや少ない「小線源療法」も行われている。放射線が出る金属のカプセルを前立腺内に埋め込む治療法だ。膀胱がんは、がんが粘膜内にとどまっていれば尿道から内視鏡を入れて電気メスで削る。粘膜より下層に



<当院の「ノバリス」治療風景>

ノバリス装置については冊子「病院の実力がんに克つ」をご参照ください。治療方法など詳細については、泌尿器科外来にお問い合わせください。